

ともいき通信

Vol.16

■発行元
認定 NPO 法人
人と動物の共生センター
2021.7月発行

『ともいき通信』は、人と動物の共生センターに協力してくださっている方とセンターを繋ぐニュースレターです。
人と動物の共生センターの活動の様子を、会員や配布先の皆様にお知らせしております。



猫問題解決ボランティア育成プログラム 全9回完結！

2022年春

人と動物の共生大学設立

- ・ ペット防災カレンダー2022 発売決定
- ・ AHB アドバイザリーボードに参画
- ・ 活動状況と今後の活動方針
- ・ 2020 年度収支報告
- ・ それぞれの想い
- ・ ご支援をくださった皆様 他



認定 NPO 法人

人と動物の共生センター



人と動物の共生ために何かしたい…

2022年春、 人と動物の共生大学設立へ

コロナ、オンライン化、そして…

2021年も半年が過ぎました。新型コロナウイルスの蔓延が始まって1年半程が経過しています。この間の社会の変化として市民活動もオンライン化が進んでいます。

私共も例にもれず、2020年4月のONELifeチャンネルの立ち上げ、そして、2021年4月には、ONELifeチャンネルを基盤にし、オンライン市民大学「人と動物の共生大学」（以下共生大学）をプレ開校いたしました。2021年度1年間を使って体制を整え、2022年4月に本開校としていきたいと考えております。2021年11月からは、共生大学設立のためのクラウドファンディング（岐阜市ふるさと納税を活用したもの）に挑戦すべく準備を進めております。

共生社会を目指すために、 私たちの役割は？

当団体では、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることのできる社会づくりに貢献することを理念に掲げ、活動しています。そして、飼っていない人、飼っている人、動物の三者の福祉が保たれた、人と動物の共生社会の実現を、目指すべきビジョンとして設定しています。

この共生社会の実現のために、当団体の役割はどのようなものなのか？その答えを探すべく、会員の

皆様をはじめ、関わりある方々の声を聞きながら、役職員とのディスカッションを行ってきました。

人と動物の共生社会の実現は容易なものではありません。はっきりとした到達できるゴールがあるというよりも、そこを目指し続けるための北極星のような概念です。当然、当団体だけが活動していればそこに近づくというものでもありません。人と動物の共生に関する様々な課題を解決しようとし続ける社会、目指そうとする姿勢がある社会、今よりも多くの方々と一緒に、一歩でも前に進もうとする社会にしていくことが、必要な事ではないかと考えています。

多くの人や組織とともに、様々な課題を解決する社会を目指す上で、当団体の役割どのようなものか考えた時「人と動物の共生センターは、人と動物の共生社会のために何かしたいと考えている人や組織の活動を支援する、中間支援組織を目指すべきではないか」という思いに至りました。

共生大学は何を目指すのか？

中間支援組織を目指すという方向性は、2019年度の年次報告書の時点で記載させていただいた大きな方向性でしたが、具体的にどのように進めていくについてはイメージがまとまっていませんでした。期せずして、2020年からの新型コロナウイルスの蔓延、市民活動のオンライン化の流れが起きました。ONELifeチャンネルは、中間支援組織になるというイメージをもってはじめた活動ではなく、「コロ



ナ禍を生き抜く」ためのオンライン化による収益の維持という目的の強い事業でした。コロナ禍の急性期を過ぎ、事業全体としても安定してきた今、より理念的な、社会に近づくための中間支援の要素を持つプラットフォームとして活用していくために、共生大学へと生まれ変わる決断をしました。

共生大学は、「人と動物の共生のために何かしたい」と考える人が、「その何か」に出会い、「仲間」に出会い、「対話」することで、「気づき」を得て、「学び合い、励まし合う」ことで、一人一人の「挑戦」をサポートし、「人と動物の共生のための第一歩を实践する場」を目指しています。現在、Facebookを中心としたコミュニティ作りに取り組んでおり、セミナーだけでなくワークショップやミーティングにより、参加者が相互に意見交換し、参加者自身が実践に活かすことのできる場作りを行っています。

例えば、ペット防災カレンダープロジェクトに参加した人が、カレンダーへの意見を出し、カレンダーを広める活動に参加することは、人と動物の共生のための実践の具体例です。カレンダーを作ることは個人では難しいけれど、共生大学というプラットフォームの中で参加することで、一人ではできないことができるようになり、仲間とともに実践することができます。

あるいは、「水9の猫」が、子猫の一時預かりに挑戦する方を応援することができるようになるかもしれません。あるいは、「水9の猫」のコンテンツのうちでも使いたいと言ってくれる団体が現れるかもしれません。

共感の輪を拡げることが 社会を創ること

このように、人と動物の共生社会を目指すという思いに共感する方々と共に、活動の輪を拡げていくことそのものが、人と動物の共生社会を創ること、そのものであると私は考えています。

2022年3月で当団体は発足10周年を迎えます。このタイミングで、共生大学をはじめることができることは、運命的なものを感じます。理念への共感者が増えていくことは、目指す社会に近づくことそのものとも言えます。共生大学は、中間支援的な取り組みであると同時に、その参加者を増やすことそのものが共生社会を目指すカギとなる活動になると考えています。

引き続き、皆様からの応援をいただきながら、共生大学の取り組みを進めていきたいと考えておりますので、どうぞ、お見守りいただければ幸いです。またご意見もございましたら是非、事務局までお伝えいただけますとありがたいです。



人と動物の 共生大学

殺処分問題に挑む！

なぜペット防災カレンダーを

作ったのか？



犬猫の殺処分問題を解決したい。

その思いで NPO を起業した奥田が今取り組むのは、ペット防災カレンダー。災害時、ペットを連れた同行避難は受け入れ体制は整っていない。この課題を解決するには、行政の対応をただ待つのではなく、飼い主自身が備えること、そして、ペット関連事業者らが同行避難を支援することが不可欠だ。ペット防災カレンダーはそのためのツール。一人一人が社会の課題の担い手となる参加の入口である。獣医師であり社会起業家の奥田に、一人一人が社会問題への参加する、ソーシャルデザインについて聞いてみました。

「なぜ、ペット防災とカレンダーを組み合わせようと思ったのですか？」

ペット防災カレンダーは、ペット防災の知識が詰め込まれたカレンダーです。

ペット防災の意識啓発は、2016 年ごろから取り組んできていて、「減災教室ペット編」という飼い主向けワークシートを作成するなどしてきました。実施した飼い主さんには効果的であった一方、こうしたワークシートは、渡さないと、やってもらえないですし、やったとしても見返すことがありません。啓発効果を高めるためには、持続的に啓発を行えるツールが必要でした。そこで目をつけたのがカレンダーです。カレンダーは、1 年中壁に飾っておくことができます。カレンダーに間違い探しなどが載っているとついやってしまう人もいるでしょう。それと同じように、カレンダーにペット防災の知識が載っていれば、自然と知識を身に着けることができます。

もちろん犬猫のイラストや写真を入れて可愛らしくすることで、多くの方に喜んで受け取っていただき、飾っていただくことが出来ました。

「社会問題への参加の入口とはどういうことでしょうか？ カレンダーって、もらうだけじゃなくて渡せるツールだと言うことが肝心です。」

「減災教室ペット編」のようなワークシートでは、友人に渡すというのは、なかなかハードルが高いとおもいます。一方で、カレンダーにしてしまえば、プレゼントすることは容易です。受け取る方も可愛い動物カレンダーなら喜んで受け取ってくれます。「カレンダーを渡す」という行為は、

ペット防災の課題を解決するための、重要な啓発活動になります。ペット防災カレンダーは、一人一人が啓発活動の担い手となるための入口というわけです。

2021 年版では、協力いただける個人の皆様に 10 冊まで無料でお配りするキャンペーンを実施し、約 150 名の方にご協力いただきました。犬の散歩中に、お散歩バックに入れて配ってくださった方もいらっしゃいます。多くの方が、ペット防災の啓発の担い手になっていただけたと感じています。

この 10 冊無料配布キャンペーンは、今年も 10 月ごろから受付を開始したいと思います。

「企業の参加・協力という意味ではどうでしょうか？」

2021 年版の配布でも、動物病院やトリミングサロンも啓発の拠点として参加していただきました。ペット業界では、年末に名入れカレンダーを飼い主さんに配ることが慣例になっています。このカレンダーをペット防災カレンダーにスイッチしていただくだけで、飼い主さんたちに役立つ情報、「命を守るための情報」をお伝えすることができるのです。

現在受付中の 2022 年版からは、より企業の皆様が参加しやすいように、企業名を入れた、名入れカレンダーを作成できるようになりました。年末のノベルティとしてカレンダーを作っていた企業であれば、もともと支出していた費用をペット防災に充てることができるわけですから、参加のハードルをぐっと下げることができるのではないかと考えています。また、SDGs のターゲット 11「住み続けられるまちづくりを」に参加する事にもなります。

ー「参加型」を意識されたのには何か理由があるんでしょうか。

ペット防災に限った話ではなく、殺処分問題についてもそうですが、「ペット防災を広める取り組みをしたいが、何をすればいいかわからない」、「自分はペット業界で働いておらず、できることがほとんどない」というように考えている方がたくさんいらっしゃいます。手伝いたくても手伝えない、そんなのはもったいないな、と思ったんです。それに、今は手を挙げれば誰でもチャレンジできる時代。チャレンジのきっかけさえ作れば、誰でも動き出すことができると思うんです。そして、ペット防災カレンダーを配るといふ小さなチャレンジが、自分自身でペット防災の勉強会を開くとか、動物のための避難所を作るとか、自社でペット防災にかかわる商品開発をするとか、もっと大きなチャレンジにつながっていくのではないかと思います。そして、そのチャレンジの集積が社会を変えていきます。

誰もが参加しやすい環境を作ることこそが、社会の変化につながる。それが、参加型を意識した一つの理由です。

ーそうなんですね。一人一人の小さなチャレンジが社会を変えていくと

これまで様々な起業家支援プログラムなどに参加してきましたが、一人で目の前のことを解決する姿勢ではなかなか難しい。色んな人の力がなければ社会が動いていけないんだということを実験起業家たちの教えから知りました。色んな人から力を借りるためには、社会の構造、何がボトルネックになっているかを自分がわかっていないと力を借りることができない。社会の構造をちゃんと把握する。で、どこをちょっとだけ変えようとすぐ変わるかを考える。

ペット防災カレンダーは、社会問題への参加を促すきっかけをつくるもの。自ら担い手としてチャレンジする一歩目を誘うツールです。変えたところは、年末のカレンダーの誌面にペット防災の知識を入れただけです。そういう、大きなうねりを生み出す小さな変化を見つけて、世に送り出していくことが社会起業家の一つの役割なんじゃないかと思いますね。

ーなるほど。社会変革という意味で、SDGsの観点から見るといかがでしょうか。

先にも述べましたが、SDGsのなかで直接的には、11番の「住み続けられるまちづくりを」が挙げられます。さらに、参加型で社会に影響を与えていくという意味では、17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」が当たります。

ペット防災カレンダーの目指すべき未来は、災害が起こった時に、安全に避難できること、被害を防ぐこと、命を守ることです。そして、それを可能にするためには、先程も述べた、パートナーシップ、さまざまな立場の人の協力がないとできません。カレンダーを配る、とてもシンプルな行動で新しい気づきが生まれ、社会が変わっていく。そんな未来の実現を目指しています。

ーまさに、「参加で社会は変わる」ですね。カレンダーはどこで手に入るんですか？

ペット防災カレンダーは、現在予約受付中です。今年から名入れカレンダーの製作が可能になりました。多くの事業者の方、団体の方にご協力いただいて、ペット防災への気づきを広めていきたいと考えています。詳細と申し込みは下記からお願いします。

ペット防災カレンダーとは？

ペット防災カレンダーは、かわいいだけではなく、『命を守る』カレンダーとして、ペット防災の知識を詰め込んで開発されたカレンダー。2022年版は現在作成中。11月にお届けします。飼主の気づきを促し、被災への備えを進めるためのカレンダーです。

商品名	ペット防災カレンダー 2022(名入版)
種別	壁掛けカレンダー(1月はじまり)
サイズ	見開き A3(横 297 mm × 縦 420 mm)
ページ数	16 ページ(表紙・裏表紙含む)
誌面	2 か月単位カレンダー/ペット防災情報
名入れ	対応可能
受付	2021 年 5 月～9 月末日
納期	2021 年 11 月下旬



◀お申込みや料金の詳細はこちらから
(<http://human-animal.jp/bousai-blog/2053>)



全国 116 店舗のペットショップを運営するAHB ペット業界における動物福祉向上のため アドバイザリーボードを設置

株式会社 AHB パートナードッグ&キャットアドバイザリーボード



浅野 明子 氏
弁護士（高木國雄法律事務所）



井島 七海 氏
株式会社 PETOKOTO 執行役員
兼 OMUSUBI 事業責任者



今本 成樹 氏
新庄動物病院 院長



長谷川 龍太
株式会社 AHB 取締役



奥田 順之 氏
認定 NPO 法人
人と動物の共生センター 理事長



上山 琴美 氏
認定 NPO 法人キドックス 代表理事



安野 舞子 氏
横浜国立大学 高大接続・
全学教育推進センター 准教授



森 兵衛
株式会社 AHB 取締役

Partner Dogs & Cat AHB

株式会社 AHB（以下、AHB）は、「動物と人間の幸せな共生社会の実現に貢献する」ことをミッションに、全国に 116 店舗（2021 年 4 月現在）を運営しているペットショップチェーンです。当団体では、ペット産業の社会的責任の推進に関連して、AHB の皆様と度々意見交換の場を持たせていただきました。この度、AHB が繁殖引退犬猫を家庭につなげるプロジェクトを行っていききたいという相談を受け、適正に社会とコミュニケーションを図りながらプログラムを進めていくためには、アドバイザリーボードの設置という方法が良いのではないかという話がまとまり、この取り組みに参画させていただくこととなりました。

近年、犬猫の販売に関しては、繁殖に用いられる一部の犬猫の不適切な飼養管理が問題視されていることは皆様ご承知の通りです。2019 年の動物愛護管理法の改正で、動物取扱業の規制強化の一環として、数値基準（※1）の具体化等が定められました。こうした社会の変化の中で、AHB が企業の責任を果たしていくために何が必要か、動物福祉に配慮した事業活動には何が必要かを真剣に議論させていただく場として、アドバイザリーボードを設置いただきました。

これまで当団体で行ってきたペット産業の社会的責任の推進は、ペット産業をただ批判するのではなく、具体的に一緒に改善していける部分を考えていこうとする姿勢で臨んできました。時には、業界との距離が近いことで、生体販売を擁護する立場だと受け取られることもありました。しかしながら、一方的な批判だけでは、共に考え、共に実践することはできなかったと思います。業界のリーディングカンパニーである、AHB の皆さんの新たな挑戦に伴走できること、そして、動物福祉・愛護の専門家の皆様とともに、経営陣に対して忌憚なく意見できる場が設けられたことは、ペット産業の社会的責任を果たす取り組みとして大きな一歩となったのではないかと思います。

こうした、社会の声を聞き、経営に活かしていこうという取り組みが、AHB のアドバイザリーボードだけでなく、より広く業界に浸透していくように引き続き働きかけを行って行きたいと考えております。

（※1）本稿で使用される「数値基準」「数値規制」という文言は、動物愛護管理法の飼養管理基準に関する省令で定められる遵守基準のことを指します。

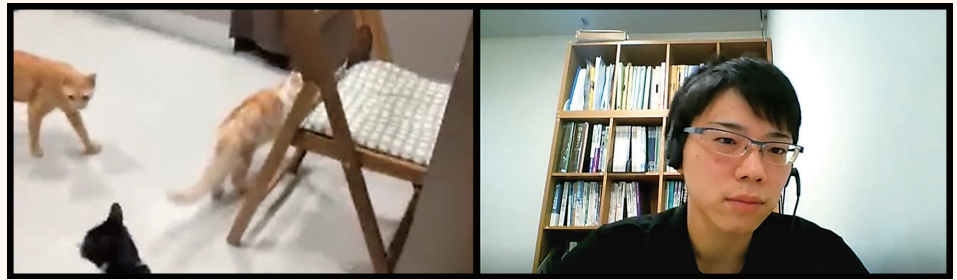


2020年度 活動報告

Activity report 2020

クリニック

Clinic



会議通話アプリケーションZOOMを活用したオンライン相談

ぎふ動物行動クリニックは行動診療科を専門とする動物病院で、問題行動を抱えたペットやその行動によって生活に支障を来しているご家族に対し、ご支援を行っております。以前に増して社会的に認知されてきた行動診療科ですが、全国的にみてまだまだ問題の予防や改善に対する認識は十分でないように感じます。

一方、問題行動に関する当院への相談件数は増えており、昨年度は178件（一昨年度は127件）の初回症例のご相談を受けさせていただきました。中にはオンラインによるご相談で、北海道や九州の方、さらに遠くで中東やヨーロッパといった海外に住まわれている方のご相談もお受けしました。

オンラインでの診療や相談などについて、追って農水省から、獣医療に係るオンライン診療のガイドラインが出されるかと思いますが、そこからさらにオンライン診療やグローバルな獣医療展開が活発になることが期待されます。ただし、我々も所属する「日本獣医オンライン診療研究会」も一定の懸念を示している通り、誤診や不適切な獣医療提供などにつながるリスクもあります。そのため実用的で、尚且つ、信頼性の高いガイドライン作成が望まれ、当院としても現場からの意見を出し、より安全性の高い基準作成に寄与できればと思います。

引き続き症例と向き合おう中で、問題行動に関わる諸問題に対する理解を深め、ご家族やペットだけでなく、社会にもそれら知見や技術を還元していければと思います。

ワンライフ

ONELife

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、ONELifeのレッスンも対応を余儀なくされました。緊急事態宣言により、4月、5月と2ヵ月の間、レッスンの休業もあり、これまで通りのレッスンができませんでした。もちろん休業中でも問題行動カウンセリングの希望や、子犬を迎えた飼い主さんからの問い合わせは多数ありました。このコロナ状況の中で少しでも安全に活動ができるようにスタッフで話し合いを重ねました。マンツーマンでのレッスン、web会議ツールを使ったパピークラスオンライン、オンラインカウンセリング、これまでよりもレッスンへの参加定員数を減らし“密”を避ける、換気状態でのレッスン、アルコール消毒の協力をお願いなどの対策を行い

ながら6月から本格的にレッスンを再開しました。再開を喜んでくださる飼い主さんの声にとっても嬉しい気持ちにもなりました。

昨年度は始まりから2ヵ月の休業期間という厳しい状況の中からのスタートでしたが、今年度は過去最高の売り上げを記録することが出来ました。

コロナの状況は今年度になっても変わっていません。変わらず対策を行いながら飼い主さんと愛犬のために活動を続けていく所存です。



2020年度 活動報告

Activity report 2020

ペット後見互助会 ともものわ

TOMONOWA

今ペット後見互助会ともものわは、ご高齢者と暮らすペットの飼育困難に対する支援策をご提供させていただいております。この半年間で新たにお二組のご家族にご契約いただき、のべご契約組数は4組となりました。

まだ、緊急的な保護を行うような事態には直面しておりませんが、いざ飼育の継続が難しくなった場合の対応方法については、実際の状況を想定して取り組んでまいりました。先日は、飼い主様のご自宅まで向かい、2頭の大型犬と1頭の中型犬を当法人まで車で送り、一泊後、再度飼い主様のご自宅までお送りしました。

飼育困難時に預かるということについて、今まで当法人では犬の一時預かり施設はあったものの、猫の預かり施設はありませんでした。そこで、昨年度末、当法人から徒歩5分のところの空き家を買取り、猫の預かり施設として活用し始めました。

現在その一軒家には、昨年度に岐阜県内で孤独死されていた方の猫を4頭保護しております。費用については、行政担当の弁護士を介し、その方の遺産から猫の飼育費分を互助会に当てていただき、その子たちに活用させていただいております。順次施設の改修工事を行い、環境エンリッチメントや人に対する馴化を進め、新しい飼い主様がみつかるよう尽力し、そうでなくとも問題なく終生飼育していけるよう、体制を整えてまいります。

また、本分野に関心が高い方々や関連事業者の方々が集まり、月に1度の学習会を引き続き開催しており、現在まで計15回開催されました。現在の主な議題は、岐阜市周辺地域だけでなく、他地域にも当会のような仕組みや体制を整えるには何が必要で、何をすべきなのか、ということが主題になっております。当法人正会員の石部大史さん（一般社団法人わんむすび代表：京都府）を中心に、京都周辺で当会の取り組みを広げていけるように鋭意検討中です。



猫セミナー

Cat seminar

猫問題解決ボランティア育成プログラム 終了しました！

水9のネコ

ネコとの暮らしが
充実する番組

ネコ飼い初心者さん大歓迎！！

ゲスト講師

獣医師 伊藤フミヤ先生

きき手 鈴木エミコ

最終回

2021.3.17 19:50 LIVE

プログラムを
振り返って

猫問題解決 ボランティア
育成プログラム

第9回

2020年度は全9回猫問題解決ボランティア育成プログラムを開催しました。オンラインのおかげで日本各地からのご参加をいただくことができました。各回にテーマごとの専門家を招き、猫に関わる活動をしている方々からも、背中を押される思いがしたとご好評をいただきました。録画の再生回数は多いもので1600回を超える回もあり、皆様の関心の高さがうかがえます。現在もYouTubeの「ONELifeチャンネル」の再生リストからどなたでもご覧になれますので、ぜひどうぞ！

2021年度は昨年の中での飼い猫に関する質問が多かったこともあり、基本的な飼い方、病気、ワクチンだけでなく、雑学を含め、猫について楽しく学ぶセミナー【水9のネコ】、オンラインだからこそ日本各地の方と繋がれるということを生かして人と動物の共全国の猫に関わる活動をしている方々をご紹介します【日本列島ネコ会議】を6月から毎月第4水曜日 21:00～隔月でお送りいたします。どちらも「人と動物の共生大学（旧 ONELife チャンネル）」の無料番組としてお送りいたしますので、お気軽にご参加ください！

2020 年度決算報告

全科目損益三期比較表

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日 (決算)

勘 定 科 目	2018 年度	2019 年度	2020 年度	比率 (2020 / 2019)
612 売上高	35,128,332	34,247,710	43,043,256	125.7
613 正会員会費	250,000	340,000	340,000	100.0
614 賛助会員会費	435,000	423,000	246,000	58.2
615 受取寄付金	181,940	849,257	4,196,569	494.1
616 受取助成金	1,200,000	940,000	6,235,490	663.4
911 受取利息	88	118	182	154.2
914 雑収入	37,280	91,603	93,005	101.5
【 純売上高計 】	37,232,640	36,891,688	54,154,502	146.8
721 期首材料棚卸高	4,145,692	2,575,341	3,215,135	124.8
712 売上原価	2,593,517	3,176,201	2,831,503	89.1
725 期末材料棚卸高	2,575,341	3,215,135	2,848,789	88.6
(材 料 費 計)	4,163,868	2,536,407	3,197,849	126.1
731 役員報酬 (事業費)	2,763,600	3,318,400	3,559,800	107.3
732 給料 (事業費)	9,870,084	12,108,380	13,132,830	108.5
734 賞与 (事業費)	582,000	742,500	885,000	119.2
736 法定福利費 (事業費)	1,783,367	2,045,458	2,448,618	119.7
737 福利厚生費	30,347	32,005		
(労 務 費 計)	15,029,398	18,246,743	20,026,248	109.8
741 委託費			2,961,000	
744 諸謝金 (事業費)	1,545,641	73,710	364,560	494.6
756 印刷製本費 (事業費)	347,598	654,802	990,539	151.3
733 会議費 (事業費)		42,124		
742 旅費交通費 (事業費)	1,032,725	337,407	416,758	123.5
743 通信運搬費 (事業費)	426,186	440,510	269,460	61.2
752 消耗品費 (事業費)	564,164	792,504	369,345	46.6
757 広告宣伝費 (事業費)	518,370	629,997	2,083,059	330.6
751 交際費 (事業費)	18,138	31,145		
749 水道光熱費 (事業費)	313,561	149,296	138,752	92.9
750 寄付金 (事業費)	248,545	454,026	2,000,000	440.5
763 地代家賃 (事業費)	2,244,000	2,284,000	2,304,000	100.9
746 賃借料 (事業費)	160,432	373,215		
745 減価償却 (事業費)	1,009,702	1,149,175	1,235,073	107.5
747 保険料 (事業費)		5,040		
759 諸会費 (事業費)	196,000	177,150	227,000	128.1
753 租税公課 (事業費)	144,925	43,860	1,842,190	999.9
735 研修費 (事業費)	225,100	72,652	100,500	138.3
758 支払手数料 (事業費)	532,284	672,841	740,223	110.0
761 新聞図書費 (事業費)	151,804	87,968	62,205	70.7
769 雑費 (事業費)	364,120			
(経 費 計)	10,043,295	8,471,422	16,104,664	190.1
【当期製品製造原価】	29,236,561	29,254,572	39,328,761	134.4
【 売 上 原 価 】	29,236,561	29,254,572	39,328,761	134.4
【売上総利益金額】	7,996,079	7,637,116	14,825,741	194.1
831 役員報酬	1,184,400	829,600	628,200	75.7
832 給与手当	668,671	877,606	1,264,464	144.1
835 研修費	81,800			
836 法定福利費	189,950	153,842	222,253	144.5
837 福利厚生費			102,837	
842 旅費交通費	89,350	173,205	122,897	71.0
843 通信運搬費	114,740	268,821	679,273	252.7
852 消耗品費 (管理費)	204,311	171,736	981,929	571.8
849 水道光熱費 (管理費)	55,334	26,347	24,485	92.9
863 地代家賃	396,000	396,000	396,000	100.0
844 交際費			7,048	
857 広告宣伝費	17,517	130,419		
846 賃借料	170,430	168,480	73,320	43.5
847 保険料	114,090	113,160	110,860	98.0
848 修繕費		188,180		
856 事務用品費	446,431	451,968	446,675	98.8
861 新聞図書費	97,924	116,005	39,098	33.7
867 印刷製本費	213,250	183,980	127,420	69.3
853 租税公課	1,315,925	1,446,690	275,610	19.1
859 諸会費	36,350	93,475	167,375	179.1
845 減価償却費	178,182	177,429	159,869	90.1
921 支払利息割引料	283,286	261,141	332,186	127.2
869 雑費	605,960	632,453	985,723	155.9
【 販売管理費計 】	6,463,901	6,860,537	7,147,522	104.2
【 営業損益金額 】	1,532,178	776,579	7,678,219	988.7
【 経常損益金額 】	1,532,178	776,579	7,678,219	988.7
【税引前損益金額】	1,532,178	776,579	7,678,219	988.7
【 当 期 損 益 】	1,532,178	776,579	7,678,219	988.7
【 当 期 損 益 】	1,532,178	776,579		

事業部門別損益の状況

税込 (単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業										その他の事業	事業部門計	管理部門	合計
	①伴侶動物のしつけ教室の企画運営事業	②伴侶動物の問題行動の解決援助事業	③伴侶動物の飼育方法についての情報提供事業	④人と動物の共生に関する社会教育事業	⑤自然災害等に備えた、人と動物の防災事業	⑥ペット後見互助会企画運営事業	⑦人と動物の共生に関する調査、研究事業	⑧野外で繁殖する動物の繁殖抑制事業	⑨ペット産業の社会的責任推進のための調査、研究提言事業	⑩動物の保管に関わる事業	⑪物品販売に関わる事業			
【経常収益】														
受取会費	0	0	0	0	123,000	0	0	123,000	0	0	0	246,000	340,000	586,000
受取寄付金	0	0	0	0	2,048,569	1,510,000	0	600,000	22,000	0	0	4,180,569	16,000	4,196,569
受取助成金	1,451,320	488,499	61,577	271,880	2,564,420	10,579	0	200,302	89,961	80,537	194,925	5,414,000	821,490	6,235,490
事業収益	22,079,918	8,198,300	1,056,600	4,680,625	966,321	182,000	0	5,200	1,547,815	1,179,200	3,147,277	43,043,256	0	43,043,256
受取利息	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	177	182
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93,005	93,005
経常収益 計	23,531,238	8,686,799	1,118,177	4,952,505	5,702,315	1,702,579	0	928,502	1,659,776	1,259,737	3,342,202	52,883,830	1,270,672	54,154,502
【経常費用】														
役員報酬	418,800	418,800	0	628,200	628,200	837,600	0	0	628,200	0	0	3,559,800	628,200	4,188,000
給料 手当	8,727,687	2,045,231	674,245	0	0	340,873	0	592,799	0	523,269	228,726	13,132,830	1,264,464	14,397,294
従業員賞与	609,000	156,000	50,000	0	0	26,000	0	0	0	44,000	0	885,000	0	885,000
法定福利費	1,418,250	353,523	108,544	99,941	99,941	197,396	0	2,641	115,028	52,401	953	2,448,618	222,253	2,670,871
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102,837	102,837
人件費 計	11,173,737	2,973,554	832,789	728,141	728,141	1,401,869	0	595,440	743,228	619,670	229,679	20,026,248	2,217,754	22,244,002
売上原価	0	967,172	0	0	0	0	0	0	4,504	0	2,226,173	3,197,849	0	3,197,849
委託費	0	0	0	597,000	1,433,000	99,000	0	117,000	715,000	0	0	2,961,000	0	2,961,000
諸謝金	0	0	0	284,200	0	0	0	80,360	0	0	0	364,560	0	364,560
印刷製本費	47,570	0	0	0	821,162	121,807	0	0	0	0	0	990,539	127,420	1,117,959
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	253,680	37,310	41,600	2,850	0	12,518	0	48,000	3,000	3,000	14,800	416,758	122,897	539,655
通信運搬費	17,160	8,030	0	9,460	189,435	41,305	0	2,530	1,210	0	330	269,460	679,273	948,733
消耗品費	71,577	8,124	0	0	210,155	0	0	77,949	0	1,540	0	369,345	981,929	1,351,274
広告宣伝費	284,871	0	0	1,522,388	242,800	0	0	0	33,000	0	0	2,083,059	0	2,083,059
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,048	7,048
水道光熱費	114,266	8,162	0	0	0	0	0	0	0	8,162	8,162	138,752	24,485	163,237
寄附金	0	2,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000
地代家賃	1,848,000	132,000	0	0	60,000	0	0	0	0	132,000	132,000	2,304,000	396,000	2,700,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,320	73,320
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務用品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	446,675	446,675
減価償却費	746,056	53,289	0	0	276,316	52,834	0	0	0	53,289	53,289	1,235,073	159,869	1,394,942
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,860	110,860
諸会費	0	227,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	227,000	167,375	394,375
租税公課	957,091	346,259	44,466	196,330	39,298	7,639	0	218	64,963	51,662	134,264	1,842,190	275,610	2,117,800
研修費	56,200	44,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,500	0	100,500
支払手数料	379,463	140,896	18,208	81,391	16,092	3,128	0	89	26,601	20,266	54,089	740,223	0	740,223
新聞図書費	14,400	44,825	0	0	1,430	1,550	0	0	0	0	0	62,205	39,098	101,303
支払利息割引料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	332,186	332,186
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	985,723	985,723
その他経費 計	4,790,334	4,017,367	104,274	2,693,619	3,289,688	339,781	0	326,146	848,278	269,919	2,623,107	19,302,513	4,929,768	24,232,281
経常費用 計	15,964,071	6,990,921	937,063	3,421,760	4,017,829	1,741,650	0	921,586	1,591,506	889,589	2,852,786	39,328,761	7,147,522	46,476,283
当期経常増減額	7,567,167	1,695,878	181,114	1,530,745	1,684,486	△ 39,071	0	6,916	68,270	370,148	489,416	13,555,069	△ 5,876,850	7,678,219

※受取助成金（持続化給付金と岐阜県コロナ対策協力金）については使用実績割合で按分しております。
 ※受取助成金（家賃支援給付金）については占有割合で按分しております。
 ※役員報酬、給与手当、従業員賞与、法定福利費については活動実績割合で按分しております。
 ※通信運搬費、消耗品費、支払手数料については使用実績割合で按分しております。
 ※租税公課（消費税）については売上割合で按分しております。
 ※地代家賃、水道光熱費、減価償却費、租税公課（固定資産税）については占有割合で按分しております。

貸借対照表

令和3年3月31日現在 税込 (単位：円)

資 産 の 部			負 債 ・ 正 味 財 産 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
【流動資産】			【流動負債】		
現金・預金	現金	321,226	買掛金		6,820
	当座預金	1,440,478	未払金		2,415,761
	普通預金	34,784,311	未払消費税等		1,131,900
現金・預金 計		36,546,015	預り金		106,310
営業債権	売掛金	1,936,288	前受金		9,640,000
	営業債権 計	1,936,288	住民税		1,600
棚卸資産	棚卸資産	2,848,789	仮受金		9,900
	貯蔵品	26,383	流動負債 計		13,312,291
棚卸資産 計		2,875,172	【固定負債】		
その他流動資産	立替金	162,675	長期借入金		30,895,000
	前払費用	112,500	固定負債 計		30,895,000
	その他流動資産 計	275,175	負債の部合計		44,207,291
流動資産合計		41,632,650	正 味 財 産 の 部		
【固定資産】			【正味財産】		
有形固定資産	建物	11,343,826	前期繰越正味財産額		10,654,088
	構築物	655,219	当期正味財産増減額		7,678,219
	機械装置	1,886,718	正味財産 計		18,332,307
	車両運搬具	1	正味財産の部合計		18,332,307
	工具器具備品	400,216			
	土地	6,490,968			
有形固定資産 計		20,776,948			
投資その他の資産	出資金	10,000			
	差入保証金	120,000			
	投資その他の資産 計	130,000			
固定資産合計		20,906,948			
資産の部合計		62,539,598	負債・正味財産の部合計		62,539,598



それぞれの想い

人と動物の共生センターには、たくさんの方が関わり、人と動物の良き共生を歩めるように活動しています。
16回目となる今回は、青山研さんに活動に対する想いを教えて頂きました。

はぁ？オジサンなに寝ぼけたことってんの？

二十歳。バンド三昧の自分に「お前、30年後に動物関連のNPOの仕事手伝ってるぞ」と真顔で伝えても、こんな言葉が返ってくるでしょう。子どもの頃に犬はいいましたが、中学生以降は動物とは全く縁のない生活でした。

猫バカ爆誕

事実婚スタート。妻の「連れ猫」と暮らし始めてすぐ状況は一変し、ひとりの猫バカが爆誕。ほどなくその猫は亡くなり、葬儀をした動物霊園で暮らす野良猫たちがきっかけで殺処分の惨状を知ること。境内の野良猫を保護してわが家に迎え、それが高じて猫を保護しては写真を撮りネットで里親さん募集し、馴染みの店に頼んで里親募集のチラシを置いてもらい、週末は猫の里親会に動物病院に…サラリーマン生活を送りながら、週末は猫の用事に忙殺される生活が当たり前となりました。

人生何が起こるか分からない

父母の介護と他界、妻の実家の東日本大震災被災、障がい者だった妹の他界。大きなライフイベントが続く中で、管理職としての重要な仕事も増える一方。そんな生活から今度は自分自身が不調に襲われました。盲腸がん。そしてうつ病。幸いどちらも深手を負わずに済みましたが、たった10年間で立て続けにこれだけのことが起きると、根本的に生活を変えざるを得ませんでした。

暇そうなオジサン Meets 人と動物の共生センター

父から継いだ家業の立て直しも一段落し、時間に余裕が生まれ始めた頃、CSRセミナーへの参加がきっかけで人と動物の共生センターと出会いました。その特徴的な活動に大いに興味を持ち、正会員として参加したところ、縁あって仕事のお誘いをいただきました。

オジサンは希望の道を進む

サラリーマン時代のITスキルに加え、バンドで培った音響のスキルも全面投入し、人と動物の共生大学の事務局の仕事をしています。今年始まった猫番組「水9のネコ」「日本全国ネコ会議」にもどっぷり関わっておりますので、ぜひご覧くださいね。

老眼でぼやける液晶と戦いながら、オジサンは今日も動画を編集し、YouTubeにアップします。理事長はじめ若いスタッフの皆さんの活躍こそが、動物と人のより良い未来につながるのだ、という希望を胸に。



ひとりの男の人生を変えた猫「まる」。

ご支援をくださった皆様

2020年12月1日～2021年6月30日まで（敬称略・順不同）

たくさんの方からご支援いただきありがとうございます。
本会の活動のは、皆様からの想いと真心によって支えられております。
今後とも、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



BOW・WAN ボランティア	永田かおり	吉田 梢	畑 淑子	(株)マイカンパニー
NICS 池迫 美香	河内 岳史	小林 優子	川田まなみ	藤井 久美 荻野 亮子
有限会社オークハウス坪内典子		佐渡友陽一	本郷どうぶつ病院	
合同会社ALAMCOLLECTION	廣瀬 恵	昼寝猫	助口 茜	林 宏典
トリミングルームポプリ	山路 美晴	瀧 典子	久永 公子	浦西かおる 川島 知司
後 将也 岩田 貴子	水野 聡	塚本 伸子	北原 純子	千村 収一 千村 直輝
千村 晶子 中嶋千江子	水野 浩幸	廣田みゆ希	山田いづみ	根津 美保 青木さち子
片田 恵子 深尾 希和	高木美也子	井納 智子	廣川 翼	伊藤 友美 石川 幸夫
大脇喜久子 浅井 宏	伊藤 三季	榊原 邦子	矢野 充	亀山 香織 高橋 明子
宗像めぐみ 加藤 章子	今井 宏昭	船木 大介	加村 有香	谷川 美華 星野 暁
三崎美登里 小川 明宏	佐藤 暢昭	田中ひとみ	三丁目公園わんずらぶ	
フェスティナー・レンター	山田 康人	三重大学生サークルDOT	青木そのみ	渡辺 英毅
鶴海 敦士 行本 英樹	須崎 隆久	千村どうぶつ病院	アニマルコミュニケーションセラピー	
バットサロンしゅしゅ	株式会社Cuun	鈴木恵美子	高橋 葵	ワンズライフ 烏 寧 奇
原田 浩光 田中 利幸	田口 尚也	伊藤 史哉	島田由紀子	奥田 奈美 小島 寛司
江口久美子 奥田 順之	中谷 明美	中谷 圭	石部 大史	市川 公一 味岡 智子
谷口あさぎ 永塚 康憲				

人と動物の共生センターの活動に

ご参加 **ご支援** **ご活用** ください

人と動物の共生センターでは、人と動物が共生できる社会づくりに向けて活動を行っております。活動へのご参加・ご支援につきましては、随時募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。また、人と動物の共生センターに仕事（講演・研修等）を依頼したいという場合にも、是非ご活用いただければ幸いです。

ご支援ください

■賛助会員募集

人と動物の共生センターの活動を支援していただく、賛助会員を募集しております。認定 NPO 法人取得を維持する関係から、年間 100 人以上の賛助会員が必要となります。賛助会費は活動の中でも『ペット防災』『野外繁殖抑制』の分野に利用させていただきます。

■年会費：3000 円／口
（複数口も承っております）

■ご寄付募集

賛助会員だけでなく、ご寄付も募集しております。ご寄付いただけます場合は、下記口座までお振込みのほどよろしくお願いいたします。

【郵便振替口座記号番号】

00800-6-123387

【口座名義】

特定非営利活動法人
人と動物の共生センター



▲ QR コードから
クレジット決済できます

税制優遇が受けられます！

個人が認定 NPO 法人等に寄附をする場合

個人が認定（特例認定）NPO 法人に寄附すると、所得税の計算において、寄附金控除（所得控除）又は税額控除のいずれかの控除を選択適用できます。また、岐阜県では認定（特例認定）NPO 法人に個人が寄附をすると、個人住民税の計算において、県民税 4 %、市町村民税（ただし、各市町村の条例で定めている場合に限り）6 % の寄附金税額控除が適用されます。（確定申告が必要です）

例）年収 300 万円の方が 1 万円寄付した場合

■所得控除計算例

所得税 10,000 円－2,000 円× 5 % = 400 円

住民税 10,000 円－2,000 円× 10 % = 800 円

合計 1,200 円の控除

■税額控除計算例

所得税 10,000 円－2,000 円× 40 % = 3,200 円

住民税 10,000 円－2,000 円× 10 % = 800 円

合計 4,000 円の控除

※岐阜県にお住まいの方の所得控除と税額控除の比較です。控除には限度があり、実際の税額はケースにより異なります。

ペット産業 CSR 白書のご購入

Amazon にて販売中

ペット産業の CSR を推進する事を目的に発行された【ペット産業 CSR 白書 - 生体販売の社会的責任 -】は、4 題の独自調査し、「ペット産業従事者アンケート」では、ペット産業従事者自身が考える生体販売の課題を検討し、「子犬の適正価格シュミレーション」では、ブリーダーへのヒアリングから得られた情報を元に、健全な子犬を育てるための必要経費を試算しました。

この他、余剰犬猫問題の構造の考察、余剰動物問題と環境問題の比較、ペット産業の CSR 推進のための提言など、ペット産業の CSR の今後の方向性を考えるための情報がまとめられます。ペット産業が動物福祉に配慮した産業に変化していくための方法を考える上での基礎情報を提供しています。



お問い合わせ・連絡先

認定特定非営利活動法人 人と動物の共生センター

〒500-8225 岐阜市岩地二丁目 4-3

【TEL】058-214-3442 【E-mail】info@tomo-iki.jp 【HP】http://human-animal.jp/